



# Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

## 第2回評議員会の開催報告

第2回評議員会が、54名の評議員の出席(代理・委任状も含む)を得て、平成16年11月5日16時から、JGS会館で開催された。

評議員会では「役員の異動による変更」の審議・承認の後、「上期活動報告と下期活動予定」が担当の副支部長・幹事長等により報告・提案され原案通り承認された。最後に、今後関東支部でも他支部同様に特別会員拡充活動を強力に推進していきたい旨の提案と協力をお願いがあった。本件について石原支部長より、「支部活動も活発化しており、特別会員拡充活動に着手する状況となった。先輩にお聞きすると、土質工学会の発足当時は20名ほどのコアメンバーが1つ1つの企業・団体に会員としての参加をお願いして回ったとのことである。関東支部でもこの初心に帰って、地道な会員拡充活動にあたりたい。評議員の方の拡充活動へのご協力をお願いしたい」とのお話があった。会后には、簡単な懇親会があり、支部活動や会員拡充に対して、有意義な意見交換を行った。



特別会員拡充活動を語る石原支部長



ご参加の評議員の皆様

### H16 年度上期活動報告と下期活動予定 (H16.11.5 評議員会資料を一部修正)

#### 1. 総会・役員会等

##### 【上期活動報告】

##### (1) 総会

###### 支部設立総会

- ・日時：平成16年5月28日(月)16:00~17:00、会場：JGS会館
- ・参加者：2,319名(出席者65名、委任状出席者2,254名)

###### 懇親会

##### (2) 評議員会

###### 第1回評議員会・第1回幹事会合同会議

- ・日時：平成16年5月28日(月)17:00~18:00、会場：JGS会館
- ・参加者45名(評議員、委任状出席24名含む)

##### (3) 運営委員会

第1回を6月25日、第2回を7月29日、第3回を8月20日、第4回を10月14日に開催した。

##### 【下期活動予定】

##### (1) 評議員会

第3回評議員会を、平成17年3月上旬開催予定である。

##### (2) 運営委員会

第5回を12月17日、第6回を1月中旬、第7回を3月中旬に開催予定である。

2. 会員サービスグループ

【上期活動報告】

会員サービスグループでは、関東支部以前に企画・実施の実績があるアフター5 談話会、原位置試験講習会、現場見学会をメインの活動として実施してきた。

新規活動としてアフター5 研究集会を立ち上げる。これは、太田会長などから特に若手技術者に発表の場を提供しようという意見に答えたものであり、平成16年12月以降に第1回目を行う予定である。

日時	テーマ	人数	特記事項
平成16年6月2日(水) 18:00~19:30	第24回アフター5 談話会『継続教育プログラム~技術士試験準備講座~』	20	社団法人日本技術士会のプロジェクトチームである企業内技術士交流会から、加藤真樹さんに総合技術監理部門を中心として技術士試験に関する話題提供をして頂いた。具体的には試験概要から、5肢択一問題、記述式問題の出題傾向や準備方法などについて説明があった。
平成16年7月15日(木) 13:30~16:00	東京国際空港の拡張に伴う施設の沈下対策と舗装工事の現場見学会	38	関東地方整備局東京空港整備事務所の副所長に空港の概要を、設計課長には沈下対策の地盤改良についての説明を受けた。現場視察では、滑走路の舗装工事および拡張予定区域の現場を見学した。
平成16年9月22日(水) 18:00~19:30	第25回アフター5 談話会『維持・管理および更新のための計測・解析技術』	52	東京工業大学、地盤工学会会長の太田先生に維持管理に関する内容で話題提供していただいた。維持管理に関する太田先生の持論では動態解析が重要であるとのことであった。
平成16年10月8日(金) 9:00~16:00	原位置試験講習会	29	基礎地盤コンサルタンツ(株)の支援をいただき、原位置試験講習会を午前・午後の2部構成で開催した。ポーリングの他、標準貫入試験、孔内水平載荷試験など調査業務を主事としていない参加者は説明を興味深く聞き入っていた。
平成16年10月28日(金) 18:00~19:30	第26回アフター5 談話会『水・粘土鉱物・有機・無機工業材料との相互作用に関わる研究開発』	21	(株)ホージュンの応用粘土科学研究所の水野克己さんに『水・粘土鉱物・有機・無機工業材料との相互作用に関わる研究開発』という内容で談話をいただいた。水野さんは、平成15年度地盤工学会賞(技術業績賞)を受賞された。

【下期活動状況】

上期に企画した内容を実施することや、新規行事の企画・立案・実施していくこと他に、若手技術者に対するサービスの向上、さらに企画案として検討されている学生会員に対するサービスに関して具体化していく予定である。学生会員に対するサービス例としては、夏季実習のインターシップにおいての学校と企業の橋渡しの方法についてである。

・アフター5 談話会

	話題	講師	所属	予定
第27回	最近の計測管理と計測上の留意点」~地下工事を対象とした近接施工における計測のポイント~	大西 靖和 氏 小島 茂之 氏	エルメス計測株式会社	11月26日
第28回	既設構造物直下の液状化対策	林健太郎氏	五洋建設	12月7日
第29回	F E M動的解析の最近の話題と様々な活用法	宇高竹和氏	地震工学研究所	1月28日

・アフター5 研究集会

	話題	講師	所属	推薦	予定月
第1回	補強土高盛土試験工事結果(富山県利賀村)	林雄介 氏 (保広 将尚 氏)	現国交省	太田教授	
第2回	動的分野	原 忠 氏	中央大学H09	國生教授	
第3回	軟弱地盤上の盛土挙動解析(九州武雄インタ-と秋田の大沢郷盛土)	竹山 智英 氏	東京工業大学現D1	太田教授	

現場見学会

「首都高速道路公団、川崎縦貫線大師ジャンクション（MMS T工法）」

- ・日時：平成 16 年 12 月 10 日（金） 13：00-14：40 と 15：00-16：40 の 2 回
- ・場所：首都高速道路公団MMS T現場
- ・定員：合計 30 名（先着順）

3. 地域活動グループ

(1) 茨城県グループ

【上期活動報告】

1) 第 1 回幹事会

- ・日時：平成 16 年 8 月 23 日（月）13:00-15:00、場所：茨城大学インフォメーションセンター会議室（水戸市）
- ・議事：最新技術講演会の日程・内容の検討  
研究視察見学会の日程・内容の検討  
現場見学会の日程・内容の検討

2) 「最新技術講演会」開催報告

- ・日時：平成 16 年 10 月 29 日（金）14:00～17:00、場所：ホテルニュー水戸、参加者：約 110 名
- ・内容：
  - ・地盤工学会関東支部の趣旨説明 副支部長 茨城大学教授 安原一哉
  - ・最新技術講演会
    - 「維持・管理・更新のための計測・解析技術 設計のための技術とは違う視点で探求すべきもの」東京工業大学教授 太田秀樹
    - 「TX（つくばエクスプレス）に関する講演」 茨城県新線沿線整備課長 後藤和正
  - ・懇親会

【下期活動予定】

1) JGS 茨城研究所めぐり

- ・日時（予定）：平成 17 年 1 月 21 日（水）14:00～17:00
- ・内容：JGS 茨城研究所めぐりと題して、独立行政法人・土木研究所の施設見学会を 50 名の参加者（予定）で実施する予定である。

2) 現場見学会の検討

- ・いばらき建設技術研究会の主催としていただき、地盤工学会は共催の予定。
- ・候補：鶴の岬の泥岩、小山ダム、利根川スーパー堤防、湊大橋など

(2) 栃木県グループ

【上期活動報告】

1) 平成 16 年度地盤工学会関東支部栃木グループ会議

- ・日時：平成 16 年 7 月 16 日（金）
- ・内容：平成 16 年度関東支部栃木グループ活動予定確認

2) 平成 16 年度第 1 回地盤工学会関東支部栃木グループ講習会実行委員会

- ・日時：平成 16 年 8 月 30 日（月） 17 時 30 分から 20 時
- ・内容：平成 16 年度栃木グループ主催講習会と活動方針について

3) 平成 16 年度第 2 回地盤工学会関東支部栃木グループ講習会実行委員会

- ・日時：平成 16 年 10 月 5 日（月） 15 時から 17 時
- ・内容：講習会に関する具体的内容の検討

【下期活動予定】

1) 平成 16 年度第 3 回地盤工学会関東支部栃木グループ講習会実行委員会開催

- ・日時：平成 16 年 11 月 16 日（火） 15 時 30 分から
- ・内容：講習会に関する準備状況と今後の予定

2) 現場見学会開催

- ・日時：平成 16 年 12 月 21 日（火）又は 22 日（水）
- ・場所：圏央道（常総国道事務所）及び つくばエクスプレス（首都圏新都市鉄道株）

- ・主催：土木学会関東支部栃木グループ、後援：地盤学会関東支部栃木会

3) 講習会開催

- ・日時：平成 17 年 1 月 28 日 (金) 13 時 30 分～16 時 30 分
- ・会場：コンセーレ (宇都宮市)
- ・講習テーマ：地盤調査とその評価・活用 (その 1)
- ・講習内容：N 値を考える 及び 宅地地盤調査方法と評価・課題
- ・主催：地盤工学会関東支部栃木グループ、共催：土木学会関東支部栃木会・栃木県地質調査業協会

(3) 群馬県グループ

【上期活動報告と下期活動予定】

1) 幹事会

- ・幹事会を 4 回開催し、今後の活動計画の検討等を実施。

2) 第 1 回グループ全体会合

- ・日時：平成 16 年 8 月 9 日 (月) 18:00～20:30、場所：前橋工科大学 (前橋市)
- ・参加者：約 50 名
- ・内容：
  - ・関東支部長挨拶
  - ・群馬県グループからの挨拶：
    - 川西 寛 関東支部評議員 (群馬県理事・県土整備局長)
    - 鶴飼恵三 関東支部評議員 (群馬大学教授)
  - ・特別講話「斜面崩壊について」石原研而 関東支部長
- ・会合終了後、意見交換会を実施。

3) 書籍「群馬の地盤」(仮称)の出版準備

- ・目的および内容
 

出版の目的は、地盤関連技術をまとめ地域社会の基盤整備に役立つ地域に特有の地盤情報を発信することである。内容は、群馬の地質や活断層、さらに火山活動、および各地盤の一般的な特性をわかりやすく述べるとともに、岩盤から軟弱地盤さらには広域地盤沈下等を含め、これまで群馬県内で遭遇した地盤のそれぞれの特有な性質、またそれらの地盤を対象とした施工時の対応等を事例としてまとめる。
- ・対象読者：地質、土質、建設、建築および環境に関する実務担当の技術者、関連技術の研究者
- ・編集委員会構成 (案)
  - 委員長 樋口邦弘 (黒岩測量設計事務所) 委員は群馬県内の産官学から約 10 名の方をお願い
- ・活動期間：平成 16 年 10 月より平成 18 年 9 月 2 年間。

(4) 山梨県グループ

【上期活動報告と下期活動予定】

幹事会を 1 回開催し、以下の現場見学会を計画している。

- ・「南アルプス林道の安全対策工事見学会」
  - ・日時：平成 16 年 11 月 5 日 (金) 午後 0 時 30 分～午後 5 時 30 分 (予定)
  - ・見学場所：山梨県南アルプス市芦安地区と広河原を結ぶ南アルプス林道 (予定)
  - ・参加者：27 名 (会員, 非会員)
  - ・目的：山梨県南アルプス市芦安地区と広河原を結ぶ南アルプス林道において、幾つかの箇所の斜面で種々の安全対策工事が現在も実施されている。地盤工学的に貴重な崩壊事例と安全対策工事について、現地見学会を実施する。

下期にも幹事会を開催し、来年度の計画も含めて活動を検討する予定である。

(5) 千葉県グループ

【上期活動報告】

1) 幹事会開催

- ・幹事会を 6 回開催し、第 1 回講演会の検討・準備や今後の活動計画検討等を実施。

2) 第 1 回講演会開催

- ・日時：平成 16 年 9 月 15 日（水）15:30～17:00、場所：プラザ菜の花（千葉県千葉市）
- ・内容：
  - ・ 関東支部設立趣旨説明 評議員 千葉工業大学教授 畑中宗憲
  - ・ 基調講演「千葉県内の都市基盤整備について」  
評議員 千葉県県土整備部長 青山 俊行（代理：佐久間博機氏）
  - ・ 懇親会

【下期活動予定】

見学会を平成 17 年 1 月の実施を目標に計画中。講習会を平成 17 年 3 月を目標に計画中。

（6）埼玉県グループ

【上期活動報告】

埼玉県グループの会員状況の把握，会員種・業種の状況整理のため，県内所属会員の名簿作成を行い，メーリングリストを作成した。

【下期活動予定】

現在，下記の県民フォーラム開催（地盤工学会関東支部共催）に向けての活動を行っている。共催にともなう資金援助は，埼玉県グループの活動費から 3 万円，支部から 2 万円補助の計 5 万円支出となり，正式には 12 月の関東支部運営委員会で承認される予定。

1) 「 ” 彩の国 ” 県民科学オープンフォーラム 2004（案） - 斜面崩壊による土砂災害から身を守る - 」

- ・日時：平成 17 年 1 月 20 日（木）14:00～17:00、会場：大宮ソニックシティ 市民ホール
- ・主催：埼玉大学地圏科学研究センター
- ・共催：自然災害研究協議会関東地区部会，(社)地盤工学会関東支部
- ・後援：埼玉県、埼玉県教育委員会

2) 幹事会

- ・日時：11 月 2 日（火）
- ・検討事項：下期活動予定，広報活動，および関連団体・協会との連携についての方針の検討

（7）神奈川県グループ

【上期活動報告】

1) 第 1 回 神奈川県グループ幹事会

- ・日時：平成 16 年 9 月 1 日（水）10:00～12:00、会場：横浜国立大学土木工学教室会議室
- ・内容：自己紹介，神奈川グループの活動方針について

2) 第 2 回 神奈川県グループ幹事会

- ・日時：平成 16 年 10 月 14 日（木）15:00～17:00、会場：横浜国立大学土木工学教室会議室
- ・内容：神奈川県グループの活動内容の詳細について

具体的な活動内容として，神奈川県，横浜市，川崎市の行政が抱える地盤工学に関する問題に対する情報交換，官・民交流を前提として，以下に示す活動を検討している。

- ・講演会の開催  
官庁（神奈川県，横浜市，川崎市）の土木関係の代表者による社会基盤整備と地盤工学に関する講演（神奈川県，政令指定都市が抱えている地盤工学に関する問題について情報交換を容易にすることを目的として）
- ・技術交流会
  - ・行政との情報交換の場として，小規模の意見交換会
  - ・地盤工学に関するトピックについて，フリーディスカッションを行う場として

【下期活動予定】

下期活動としては，前述した講演会，技術交流会の実現に向けて，詳細を検討したい。

4. 研究委員会グループ

【上期活動報告】

支部内に設置する研究委員会の設立について検討を行ってきた。以下の 3 つの研究委員会の設立について、設立趣意・委員長候補について議論を行ってきた。現時点において、以下の 2 つの研究委員会の

設立について支部運営委員会において了承を得ている。

- (1) 「堆積環境を考慮した東京湾周辺の地盤に関する研究委員会」  
委員長候補：龍岡文夫（東京理科大学 教授）  
活動期間：平成16年度～19年度（4年間）
- (2) 「液状化を考慮した地盤と構造物の性能設計に関する研究委員会」  
委員長候補：金谷守（電力中央研究所）  
活動期間：平成16年度～19年度（4年間）

また、以下の研究委員会も設立する方向で作業を進めている状況である。

- (3) 「地盤工学的立場からみた三宅島火山災害に関する研究委員会」  
委員長候補：清水恵助（元九州工業大学 教授）  
活動期間：平成16年度～19年度（4年間）

また最近の自然災害の状況を踏まえて、もうひとつ研究委員会を支部内に設置することが望ましいのではないかという意見があり、現在鋭意検討中である。

【下期活動予定】

上記の(1)と(2)の研究委員会について、今後年内を目処に、各委員長と研究委員会グループとで会合を設け、今後の研究委員会の進め方について議論・検討を行なうことにしている。その後、各研究委員会に活動の始動をお願いする予定である。

5. プロジェクト対応グループ

【上期活動報告】

(1) 技術交流会

産学官の技術交流をより一層深めるため、地盤工学的課題を有する進行中のプロジェクトを対象に、事業実施機関の関係者を交えた技術交流会を企画し、プロジェクトの技術的課題などについての情報交換を行うものである。

1) 事業実施機関との技術交流会(第1回)【「東京湾再生プロジェクト」に関する技術交流会】の開催

- ・話題提供者：国土交通省港湾局環境整備計画室 辻広登氏・嶋原茂氏
- ・日時：平成16年10月19日(火)15:00-17:00(終了後懇親会を実施) 会場：JGS 会館
- ・内容：国土交通省港湾局で推進している「東京湾再生のための行動計画」
  - ・素晴らしき海とは・・・海辺の特徴、みなとの役割
  - ・港湾の課題・・・自然との共生、これまでの取り組み
  - ・港湾における自然再生・・・干潟の回復・創出、良好な水環境への改善
  - ・東京湾再生のための行動計画

(2) 「新技術・新工法の評価や普及方策に関する技術相談」の検討

- ・目的：希望する関東支部会員(特に、法人会員)に対し、新技術・新工法の評価や普及方策に関する技術相談を行う。一般公開前の技術・工法は情報の取り扱いが難しいので、すでに公開されているものを対象とする。また、民業圧迫とならないように十分に留意する。(あくまでもボランティアベースの「相談」であり、お墨付きとして使えるような「審査」・「評定」ではない。)
- ・内容：HP やメールニュース等でアナウンスをする。
  - ・希望者は所定の書式(例えば、担当者名と所属・連絡先、技術の名称・概要・評価と普及活動の経緯、論文発表・特許の有無等をA4数枚にまとめる)で申し込む。
  - ・10分程度のプレゼンテーションをふまえて、評価や普及方策について希望者とアドバイザー間で自由討論する。
  - ・必要に応じて、技術審査・評定機関や事業実施担当者の紹介等を行う。

【下期活動予定】

(1) 技術交流会

1) 事業実施機関との技術交流会(第2回)【「河川堤防の質的整備」に関する技術交流会】の開催

- ・話題提供者：国土交通省河川局治水課 山田哲也課長補佐他
- ・日時：平成17年1月14日(金)16:00-18:00(終了後簡単な懇親会を予定) 会場：JGS 会館

2) 事業実施機関との技術交流会(第3回)【「セメント工場における廃棄物の有効利用と汚染土壌の浄化」に関する技術交流会】の開催

- ・話題提供者：セメント協会関係者他

- ・日時：平成 17 年 2 月頃、会場：関東地区のセメント工場・・・現地（熊谷駅）集合

(2) 興味深い関東地区プロジェクトのリストアップ

評議員の方へのアンケート調査を行って、各分野におけるプロジェクトのリストアップを行い、技術交流会・技術相談により具体的な需要の掘り起こしも行いながら、魅力あるプロジェクトの創出に向けた検討を行う。

(3) 事業実施機関の実務担当者へのヒアリング

防災、地下水環境保全、大深度地下利用、耐震補強、リサイクル、地盤改良、新技術活用といったテーマごと、あるいは個別プロジェクトごとに事業実施機関の実務担当者が抱えている問題点をヒアリングする。その結果をふまえて、対応可能な活動を検討する。

(4) 新技術・新工法の評価や普及方策に関する技術相談（試行）

- ・運営委員会内部メンバーに希望者がいれば、上記の内容で試行的に実施
- ・必要に応じて実施内容を修正し、平成 17 年度より関東支部会員向けに本実施
- ・当面、法人会員であることを前提に実費相当（委員の旅費・日当程度）の費用徴収を進める。

## 6. 支部発表会グループ

### 【上期活動報告】

本年度末（平成 17 年 3 月 4 日）に予定している支部研究発表会の企画、準備を行った。土木学会の関東支部発表会は学生会員の発表が中心となっているが、本発表会では若手技術者にも対象を拡げるほか、新しい技術や施工法、施工事例の紹介といった報告的な投稿も歓迎するといった、既存の発表会とは異なるようなこれまでにない研究発表会の場となるよう企画を続けていくこととしている。

また、投稿形式は 1 ページから 4 ページまでと自由度を持たせるかわりに、質疑、討議の時間を大幅に増やし、まずは発表会に参加して議論を行うという雰囲気場の設けることを目標とした。既に 1 度目の会告が土と基礎に掲載されており、会場の確保、特別講演の依頼も終了している。

### 【下期活動予定】

支部発表会開催に向けて、論文募集、概要集の編集等の作業を粛々と進める予定である。また、機会があるごとに関東支部発表会の広報を行い、支部の会員に周知していただくことに努めるとともに、ホームページを活用した情報発信を行うことによって、地盤工学会会員以外への参加の呼びかけを行う予定である。

なお、今年度は 5 月の発足で 3 月に研究発表会開催というスケジュールであったが、他学会の研究発表会と開催時期や投稿時期が競合するほか、春から秋にかけての技術・研究報告の場が少ないといった会員の要望に応えるよう、次年度発表会の企画も進めていく予定である。一つの案として、7 月投稿、10 月開催といったスケジュールとし、タイムリーな話題を投稿しやすい日程に変更する予定で、次年度発表会の計画、会告、準備を下期中に実施する予定である。

## 7. 企画総務グループ

### 【上期活動報告】

支部運営に関して、総会・役員会の準備運営を担当し、支部立ち上げ期に伴う予算管理方法の整備を行った。また、支部活動に関するアンケートを支部会員に実施し、集まった意見・要望を各活動グループにて検討し、今後の活動に役立てる予定であり、一部既に支部活動に反映されている。

広報活動としては、支部の活動状況を伝える「関東支部ニューズレター」を 7 月、10 月に発行し、特別会員や関連学協会に送付するとともに、行事の際に配布した。また、支部ホームページを暫定的に立ち上げ、行事案内等を掲載し、会員・非会員の方へ情報を発信した。

継続教育への対応として、初年度上半期の短期間に、JGS 会館および他会場で継続教育記録を取れるようになり、設立総会から現在までの支部活動記録がほぼ全て入力が完了している。

会員拡充については、他支部との比較も含めて関東支部特別会員（法人会員）の分析を行い、会員拡充の対象やその方法の検討を行った。本年度から退会を希望している特別会員 9 社に対して、退会の慰留を行い、そのうち 1 社には引き続き特別会員として活動いただけることとなった。

実施した行事関係は、以下の通りである。

(1) 「関連協会との懇談会」

- ・日時：平成 16 年 7 月 5 日（月）18:00～20:00、会場：JGS 会館、参加者：関連 13 協会
  - ・目的：地盤工学会新会館と関東支部の紹介、行事開催等での地盤工学会と関連協会との更なる連携促進等
- (2) 第 8 回ジオシンセティックス入門セミナー（共催）
- ・日時：平成 16 年 9 月 21 日（火）13:30～16:30、会場：JGS 会館、参加者：80 名
  - ・講演題目：「ジオシンセティックスに用いられる繊維材料の特性」 伊勢智一（クラレ）  
「補強土工法の原理と実際」 龍岡文夫（東京理大）  
「廃棄物処分場と遮水工について」 上田滋夫（太陽工業）
- (3) 「関東支部発足記念講演会」
- ・日時：平成 16 年 9 月 24 日（金）17:30～20:30、会場：JGS 会館、参加者：50 名
  - ・記念講演題目：「地盤改良・土壌汚染対策の動向と新技術」三木博史（土木研究所）  
「地中埋設管の地震時浮き上がり挙動と対策」古関潤一（東京大学）
- (4) 「関連学会との懇談会」
- ・日時：平成 16 年 10 月 22 日（金）17:00～19:00、会場：JGS 会館、参加者：関連 10 学会 12 名
  - ・目的：地盤工学会継続教育システム・新会館・関東支部の紹介、地盤工学会と関連学会との更なる連携促進等

【下期活動予定】

来年度の活動予算検討では行事等については年度始めに極力スケジュールを確定するように各グループの協力を得て努力する。会員への行事案内は主としてメールにより実施しているが、メールアドレスの登録率が低く案内が伝達されない問題があり、改善を図る。

広報活動としては、11 月より支部ホームページの容量が増えたため、ホームページ上に各グループの活動状況を掲載し、非会員も含めて広く情報を公開する。特に行事報告は写真も多用し、行事の雰囲気に参加しなかった方々にも伝わるように整備する。「関東支部ニューズレター」は 1 月・3 月に発行予定である。さらに、高校で地盤工学関連の講義を行う「出張講座」を千葉県の高校で実施予定であり、要望があればその他の高校でも実施したい。東京都地質調査業協会等と連携し、自治体に対する市民防災講座等の開催を積極的に働きかけたい。

今期中には、企画から実施までの活動記録を幹事を中心に会員自身の手で G-CPD システムに入力ができるようにして、来年度からの支部活動の改善に活用できる継続教育データ記録の蓄積を進めたい。

行事も活発に開催されるようになってきたので、今後は特別会員拡充活動を、拡充の目標値も設定して、支部長以下の全役員の協力を得て強力に推進したい。

行事の開催予定は、以下の通りである。

- (1) 高校出張講座「巨大地震と地盤災害 ～あなたの町の地盤は安全ですか～」
- ・日時：平成 16 年 11 月 11 日（木）
  - ・高校名：千葉県立検見川高校、講師：規矩大義（関東学院大学）
- (2) 「不飽和土の理論と実務への適用」 Frenlund 教授（カナダ・マギル大学）
- ・日時：平成 16 年 11 月 30 日（火）16:00～18:00、会場：JGS 会館

編集後記

今年は、台風や豪雨による土砂災害、地震災害がたいへん多い年でした。地盤工学に関わる関東支部会員におかれては、これらの災害に関連した調査や研究に多忙だったと思われます。しかしながら、新たな災害や規模の大きな災害が発生すると、それまでに被災して未だ避難生活をしている地域は一般の市民から注目され難くなっているような気がします。ただし、これは全国区で見た場合であり、各地方ではこの限りではありません。このようなことから、関東地区の地盤問題は地盤工学会関東支部が担うものと改めて感じております。

さて、本年度の関東支部の活動も折返し点を迎え、今回の評議員会の報告にもあるように益々活動が活発になって来ております。また、本業の打合せ等でも「関東支部ができたらしいね……」という声を聞くようになり、関東支部の存在が浸透していることを実感しております。最後に、関東支部会員の皆様のご健康とご活躍を祈願して編集後記とさせていただきます。（樋口佳意：企画総務グループ幹事）

発行 社団法人 地盤工学会関東支部 〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号  
TEL03-3946-8670 FAX03-3946-8678 E-mail : [jgskanto@jiban.or.jp](mailto:jgskanto@jiban.or.jp) URL : <http://www.jiban.or.jp/>\*\*\*\*\*